



消費者の環境配慮へのニーズに応え
食と環境を未来につなぐ！



販売サイドから見た

「見える化」セミナー

- 令和6年3月から本格運用を開始した「見える化（みえるらべる）」は、温室効果ガス削減や生物多様性保全に取り組む農業者の努力を星の数で表示する取組です。
- 本セミナーでは、販売サイドから見た「見える化」の取組について、既に導入されている小売り業者や、実証販売を実施した行政等からご紹介いただきます。

【プログラム内容】

- 制度説明
- 事例紹介

(株)イトーヨーカ堂
栃木県庁

2025年3月21日（金）14:00~15:30

※ 内閣府の調査(令和5年)によると、
「環境に配慮した農作物を購入したい」という声が80.7%もある一方、
「どれが環境に配慮した農作物かわからないため(購入していない)」
という声が65.0%もあります。【食料・農業・農村の役割に関する世論調査】(内閣府、令和5年9月14日~10月22日実施)



農林水産省
関東農政局

お申込みはこちらから
詳しくは裏面へ



【講師紹介】

株式会社イトーヨーカ堂

青果部 シニアマーチャンダイザー
久留原 昌彦 氏



2008年から(株)セブンファームを設立し、現在はGAPの推進とオーガニック野菜の開発に取り組む。特にこれらの認証を受けた生産者はPBブランドである「顔が見える野菜。」として販売。「見える化」には、令和5年度の実証事業から参加。

栃木県 農政部

経営技術課グリーン農業推進担当
主任 石川 郁太郎 氏



栃木県では「とちぎグリーン農業推進方針」を策定し、環境負荷低減と収益性向上の両立を目指している。取組の「見える化」による消費者への理解醸成を目的に、県内でイベントや各量販店等で販売実証等を実施。

【開催方法】 オンライン (Webex)

【申込方法】 URL、QRコードよりお申込みください

<https://forms.office.com/r/38435BnP5Y>

(※ 申込後、参加URLが自動送信されます)

【申込締切】 令和7年3月18日(火)17時まで

お申込みはこちら↓



【参考】 関東農政局見える化HP

https://www.maff.go.jp/kanto/kikaku/midori_syokuryou/241127.html



お問合せ先

関東農政局 みどりチーム (生産部 環境・技術課内)
TEL:048-740-0451 担当:末貞、穂山